

協会だより

(一社)秋田市建設業協会

目 次

1. 定例会議

- 企画委員会
- 工務委員会

2. 部会・青年会等の活動

- 土木部会役員会
- 建築部会役員会
- 建築部会
- 土木部会
- 青年会豪雨災害ボランティア

1. 定例会議

○企画委員会

8月9日(水)

今年度の福利厚生事業計画の一つである情報交換会をプラッツ（秋田市大町）に於いて開催しました。

石黒企画委員長の挨拶の後、参加者29名は終始和やかな雰囲気の中、地元ビールの爽快感をゆっくりと堪能し、相互にリフレッシュすることができました。

○工務委員会

8月28日(月)

秋田労働基準監督署、工事発注機関(県・市町村)、建設業災害防止団体、建設業事業者団体で構成する「労働災害防止に関する秋田地区建設工事関係者連絡会議」が、秋田市文化会館大会議室で開催され、秋田労働基準監督署安全衛生課担当者から建設業における労働災害防止のより一層の推進を図るため、労働災害発生状況や平成29年度安全パトロールの計画等について説明を受けました。

2. 部会・青年会等の活動

○土木部会役員会

8月1日(火)

平成29年度の事業等への取り組みについて、部会長ほか役員7名が出席し協議を行いました。

事業計画の講演会開催については、秋田市公共施設等総合管理計画(道路や橋梁の管理計画及び上下水道の維持管理)や関連する施設計画の所管課に対し、講演依頼をすることとしました。

尚、産業振興部の農地森林整備課の施設計画や建設部公園課の千秋公園整備計画に関する講演会については、来年度事業として今後検討することとしました。

また、県外研修視察については石黒副部会長、加藤憲成相談役及び事務局を中心に検討することとしました。

その他、福利厚生事業の協会・土木建築部会協賛ゴルフ大会の担当者には小林幹事を指名し、今年度の秋田市への要望取り組みについては、全土木部会員を対象とした会議を開催し意見集約を行うこととしました。

尚、平成28年度の除排雪報告及び今冬の除排雪対応等については、秋田市の豪雨災害対応の進捗状況により、10月中旬以降を目途に所管課と打合せすることとしました。

○建築部会役員会

8月2日(水)

部会長ほか役員7名が出席し、報告や今年度の事業等について協議を行いました。

報告事項として、事務局より7月18日に行われた建築関連団体連絡協議会役員会議の秋田市の入札に係る異業種JV問題について、「地元建設会社の受注機会確保のため要望書の提出を行う」とした協議結果の報告がありました。

議案1の平成29年度事業については、秋田市の今後10年間の建設工事(新築や維持修繕)の把握のため、公共施設等総合管理計画や学校施設、市営住宅および消防施設の管理計画をテーマとして講演を依頼することとしました。

福利厚生事業の協会・土木建築部会協賛ゴルフ大会の担当者の人選については、小南幹事長を指名しました。

議案2の秋田市への部会要望は、異業種JVの問題や市立病院、県・市連携文化施設の入札要件等について、建築部会員会議を開催し決定することとしました。

○建築部会

8月22日(火)

部会長ほか役員及び会員18名が出席し、秋田市発注の建設工事の入札等に対する要望について協議を行いました。

事務局はH28年度要望とその回答及び最低制限価格と低入札価格調査制度の他市の運用状況について報告しました。

その後、昨年度要望した項目のうち、改正にならなかった「1 秋田市総合評価落札方式ガイドライン」、「2 最低制限価格制度及び低入札価格調制度」、及び「3 特定建設工事共同企業体の代表者要件である総合点数引き上げ」について再度要望するか協議した結果、1及び3については建築部会として今年度要望には加えず、2については入札制度の検討等特別委員会に於いて再度検討することとしました。

また、事務局は8月2日開催した建築部会役員会の報告後、地方独立行政法人市立秋田総合病院と県・市連携文化施設整備工事への要望について協議した結果、病院に関する要望については、同一敷地内の新築工事である事から、元請が地元業者となるように、また、多くの地元建設会社が受注できるような入札要件となるよう要望することとしました。

県・市連携文化施設整備工事については、建設工事額に対する秋田市負担額に応じた秋田市に本社を置く多数の地元建設会社が受注できるよう要望することとしました。

尚、WTOの地域要件等については、役員間で研究後状況によっては再度検討することとしました。

○土木部会

8月23日(水)

部会長ほか役員及び会員16名が出席し、秋田市発注の建設工事の入札等に対する要望について協議を行いました。

事務局はH28年度要望とその回答及び最低制限価格と低入札価格調査制度の他市の運用状況の報告を行いました。

報告後議事に入り、議長は今年度要望について意見を求めたところ、幹事よりダンピング受注契約に対する問題提起があり、今後の会社経営や職員確保及び育成には、適正な価格による受注が重要であるとし改善を求める発言がありました。さらに会員からは、最低制限価格制度を採用する対象工事の「設計金額5千万円未満」を「1億円未満」に変更を求める意見や、同制度の規定範囲内による抽選に対し、改正を求める発言がありました。

また、会員からは入札時の総合評価における「次世代支援対策推進法に基づく企業認定状況」及び「保護観察対象者等に対する就労支援等活動状況」の評価項目採用が不適切な場合があるとし、評価項目の採用に当たっては応札者の会社規模を考慮のうえ、公告を行うべきではないかとの意見がありました。

以上について、議長はダンピング受注問題は最重要であり、最低制限価格制度と低入札価格調査制度の要望内容を明確に項目分けして、ダンピング受注回避のための改善要望をすることとしました。

秋田市公契約基本条例に関連する総合評価落札方式の制度内容については、今後の入札制度の検討等特別委員会に於いて再度協議することとしました。

○青年会豪雨災害ボランティア

8月20日(日)・27日(日)

豪雨災害に見舞われた大住・雄和の一人暮らし高齢の自宅並びに自宅周りの清掃・消毒・家具の運び出し等の依頼を秋田市ボランティアセンターより受け、青年会の会員各社の方から7名の協力をいただき、2日間ボランティア活動を行いました。